

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	—	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	5,202	順調	「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。	
活動指標名					R2年度						
実績値											進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										MICEの受入可能性のある施や団体に対してMICE開催実態のアンケート調査を行い、回答があり、順調に実施できた。	
活動指標名					R2年度						
実績値											

(2) これまでの改善案の反映状況

令和2年度 of 取組改善案	反映状況
・産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、事業者負担を減らす方向での検討を行う。	・沖縄MICEネットワークを活用し、回答率の向上と調査事業への理解を促した。事業者が回答しやすい調査手法は引き続き検討する必要がある。



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ MICEのうち、特にM, I, Eについては、実態の把握が難しく、本県のように定期的に調査を実施している地域は他にない。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症の流行により、MICE開催件数は大幅減になる見込み。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	1,841	順調	国内・海外主要都市において商談会・セミナー等を主催または出展し、プロモーション及び各市場の主催者ニーズの把握を行った。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<p>・Webを中心に情報収集を行うとともに、これまで蓄積した商談データ等をOCVB東京事務所や県外事務所、海外事務所と共有し、COVID-19の影響が治った段階で効果的なプロモーションがうてるように準備を進めていく。</p>						<p>・オンラインでMICEセミナーを開催するなど、感染症対策を施した営業活動を行った。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・オンラインによる営業活動についてもR2年度で大分ノウハウが集まってきた。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の流行は未だに収束を見せない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・オンラインの活用は引き続き必要。一方で、リアルでの商談会等の開催もタイミングによっては必要。

4 取組の改善案 (Action)

・オンラインによるセミナーの開催等を継続していく。また、COVID-19の流行状況を把握し、収束傾向にある場合は、リアルでの面談やセミナー等の開催を行っていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	① マーケティングに基づくプロモーションの展開
			施策の小項目名	○誘致・プロモーションの展開
主な取組	MICEブランドの構築・発信			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
平成29年度に策定した、沖縄MICEの独自のコンセプトやブランドロゴなどを、関係事業者等とともにプロモーション活動等において、沖縄MICEのブランドイメージを効果的に発信していく仕組みを構築する。						
実施主体	県、OCVB	ブランド策定	継続的なブランドプロモーションの展開			
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
									当初予算額	主な財源	
		一括交付金(ソフト)	委託	-	79,446	23,405	20,646	27,000	0	一括交付金(ソフト)	OR2年度： 県内外紙において、沖縄MICEのPRを行った際に、ブランドエッセンスを交えたPRをおこなった。 OR3年度： 商談会等においてパイヤー等に対し効果的に発信していく。
予算事業名		主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
									当初予算額	主な財源	OR2年度： OR3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	継続的なブランドプロモーションの展開				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	実施	実施	実施	—	100.0%	27,000	順調	活動概要 沖縄MICEのブランドイメージを各種イベントやメディア等を活用して発信した。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 国内外のメディアを活用して広報活動を実施しており、MICE開催地としての沖縄の認知度向上に向けて順調に取組を進めている。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
・沖縄MICEネットワークを活用し、さらなるブランド普及を図る。						・MICEネットワーク産業部会において、県外へのPRが不足しているため、ツーリズムEXPOジャパンでのクラスター発生がなかった件など含め、県外紙においてMICEブランドエッセンスをおりませた記事広告を実施した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ブランドを定着させるには、沖縄県、OCVB、県内MICEの中核機関である産学官の連携組織である沖縄MICEネットワーク、県内MICE産業企業等MICEに携わる全ての関係者がブランドを理解し、発信し続ける必要がある。

○外部環境の変化

・COVID-19の影響で、コンベンションなどはオンライン、ハイブリッド開催が主流となっている。一方で、リアル会合の重要性がクローズアップされつつあるところ。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・オープンエアでのMICE開催が可能である点をPRし、非日常的空間であるという沖縄MICEをPRする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・オープンエアでのMICE開催が可能である点をPRし、非日常的空間であるという沖縄MICEをPRする必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	① マーケティングに基づくプロモーションの展開
			施策の小項目名	○誘致・プロモーションの展開
主な取組	企業ミーティング、インセンティブ旅行の誘致			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国内有数の観光リゾート地である沖縄の魅力を生かし企業ミーティングやインセンティブ旅行の誘致を行う。						
実施主体	県、OCVB、民間企業		主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘			
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		戦略的MICE誘致促進事業					R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度：主催者、旅行会社を対象としたMICEセミナー開催やインセンティブ専門商談会等の参加、県内事業者とのマッチングイベント等を開催する。	
一括交付金(ソフト)	委託	-	-	265,983	341,582	232,126	258,488	一括交付金(ソフト)	OR3年度：オンラインを活用した商談会等を開催し、県内事業者とバイヤーとのマッチングを図る。	
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度：	
									OR3年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	—	-	実施	実施	実施	実施	100.0%	232,126	順調	新型コロナウイルス感染症の影響で、思ったおとりの活動ができなかったが、ツーリズムEXPOジャパンと連携した商談会やFAMツアーを実施した。	
活動指標名					R2年度						
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	ツーリズムEXPOジャパンを含む、3つの商談会へ参加し、東京都との都市間連携による北米バイヤー向けのオンラインセミナーを1回開催するな度しており、順調である。
活動指標名					R2年度						
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
(2) これまでの改善案の反映状況											
令和2年度 of 取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> COVID-19の収束のタイミングに合わせてすぐに動けるよう、準備を整えつつ、受入環境を充実させていく。 10月末に開催されるツーリズムEXPOジャパン2020 リゾート展 in 沖縄を成功させ、COVID-19からのV字回復を目指す。 						<ul style="list-style-type: none"> MICEにおける感染症対策紹介ビデオの作成など、コロナ禍においても安全・安心なMICE開催が可能な体制を整えた。 ツーリズムEXPOジャパンにおいて、クラスターを発生させないなど、安全・安心な開催が可能であることを示すことができたが、COVID-19の流行は依然として続いている。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・コロナ禍においても、安全・安心なMICE開催が可能であることを示すことはできた。

○外部環境の変化

・COVID-19の流行は未だ続いている。一方で、これまで海外で開催されていたインセンティブ旅行が国内開催にシフトし始めており、沖縄を候補地として検討している主催者が増加傾向にある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・海外でインセンティブ旅行を実施していた主催者を沖縄に積極的に誘致する。

4 取組の改善案 (Action)

・安全・安心な開催地としてPRを行い、短期的にMICE需要を回復できると思われる、インセンティブの誘致につなげていく。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、 大学による誘致活動支援				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	実施	80.0%	232,126	概ね順調	コロナ禍のなか、大学側のレギュレーションでキーパーソンに会うことができなかったが、次年度開催予定の学会について、中止やオンライン開催にならないよう、営業活動を行った。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										今年度は活動が難しかったが、現時点で次年度開催予定の学会でキャンセル等の予定はなく、順調である。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> これまでアプローチした学会等の情報についてのデータベースを再整理し、OCVB東京事務所や海外事務所とも共有し、コンベンション誘致につなげていく。 						<ul style="list-style-type: none"> 営業に向けた準備は行ってきたが、COVID-19の流行により思うような営業活動を行えなかった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ COVID-19の流行がつづいており、入場者の制限などコンベンションの開催のあり方が変わってきている。

○外部環境の変化

・ 地方都市でのMICE施設の建設が相次いでおり、国内外問わず都市間の誘致競争が年々激しさを増している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ あらたなMICE開催のあり方を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ COVID-19の流行状況を把握しつつ、ITも活用した分散開催などの提案をおこなうための営業ツールを作る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。						
実施主体		県、事業者				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		設計・工事・開業準備に向けた取組		新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。 OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。
県単等	委託	—	—	—	—	37,755	35,341	県単等	

予算事業名	観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施した。 OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施する。
県単等	委託	—	—	6,199	5,765	5,678	2,873	県単等	

様式1(主な取組)

予算事業名 大型MICE受入環境整備事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施した。	
県単等	委託	7,040,437	68,982	14,621	26,323	91,524	—		OR3年度： R2年度で事業終了	
活動指標名	新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	134,957	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、令和2年度に予定した内容のマリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を完了した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施した。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none">・今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、基本計画等検討業務を継続する必要がある。	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響 (MICEや不動産マーケットの動向等) を見極める必要がある。
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none">・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none">・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。						
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施した。	
県単等	委託	—	—	—	—	37,755	35,341	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。	
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業、都市型交流拠点形成事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施した。	
県単等	委託	—	—	6,199	5,765	5,678	2,873	県単等	OR3年度： 引き続き、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討に要する新型コロナウイルス感染症による影響把握等に関する調査を実施する。	

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施する。	・新型コロナウイルス感染症対策の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画検討業務を実施した。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
○内部要因 ・今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、基本計画等検討業務を継続する必要がある。	○外部環境の変化 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響 (MICEや不動産マーケットの動向等) を見極める必要がある。
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	制度の周知及び活用促進				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	3,966	順調	ワンストップ相談窓口にて企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、市町村や民間観光事業者・関係団体に対して制度の周知と今後の活用計画、要望等について調査し情報収集活動を実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										ワンストップ窓口への相談件数は平成29年度43件、平成30年度31件、令和元年度25件となっている。 また、活用実績(国税)は、平成29年度1件、平成30年度2件、令和元年度3件、地方税は平成29年度9件、平成30年度13件、平成31年度20件となっており、国税・地方税ともに制度の活用実績は増加傾向である。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携や個別企業等への周知活動強化を図りつつ、市町村と連携し誘致可能な用地を把握することで、観光関連施設の誘致や税制活用を具体化していく。 また、大型MICEのほかにも、うるま市や沖縄市で同様の大型開発プロジェクトが進んでいるため、情報を整理して適切に開発事業者のニーズに応じた情報提供をしていく必要がある。 						<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口で民間観光事業者へ制度周知や相談対応を行った結果、活用実績が順調に伸びている。また、市町村や民間観光事業者・関係団体に対して制度の周知と今後の活用計画、要望等について調査し情報収集活動も実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、個別企業訪問や投資誘致セミナー等の開催は行わなかった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・観光関連事業者等への十分な制度周知を図るため、ワンストップ窓口と連携しパンフレット配布や制度活用事業者の掘り起こしを行うとともに、新たな民間観光施設の整備計画の情報収集などを継続的に行う必要がある。
- ・令和4年度税制改正に向け、本制度が効果的な内容となるよう市町村や民間企業、業界団体に対し調査やヒアリング等の情報収集活動を実施する必要がある。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、沖縄観光に多大な影響を与えており、民間企業においては新たな観光施設の設備投資を控えるなどの動きもある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響からの早期回復と持続可能な観光産業の振興に向けて、観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの投資を促進することが必要である。



4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」を活用し周知活動の強化を図る。
- ・国内外からの民間資本を活用し、魅力ある観光関連施設の整備促進を図るため、引き続き市町村や民間企業、業界団体に対し調査やヒアリング等の情報収集活動を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	沖縄コンベンションセンター管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
取組内容		H29	H30	R元	R2	R3
国際・国内コミュニケーションの場としてのコンベンションを誘致・推進し、本県の産業経済及び教育文化の振興に寄与するため、沖縄コンベンションセンターの管理・運営を行う。						
実施主体	県	MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	沖縄コンベンションセンター管理運営事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
県単等	委託	65,691	65,691	65,691	66,300	146,079	0		OR2年度： 当初指定管理料は0円であったが、指定管理制度による適正な維持・管理を継続するため、新型コロナウイルス感染症の影響による追加経費を計上した。 OR3年度： 指定管理料が0円となったが、引き続き沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。	
予算事業名	沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
県単等	直接実施	416,497	354,411	240,338	124,329	258,069	13,417	県単等	OR2年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、修繕計画に沿って、天井耐震化工事や受電設備改修設計等を行った。 OR3年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、漆喰壁塗装工事等、施設の不具合への対応を行う。	

様式1(主な取組)

予算事業名							県有MICE施設長寿命化事業			
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
							当初予算額	主な財源	OR2年度： R3年度新規事業	
県単等	直接実施	0	0	0	0	0	358,560	県単等	OR3年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿って、受変電設備更新工事等を行う。	
活動指標名	MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		実施	実施	実施	実施	実施	-	100.0%	404,148	順調
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案							反映状況			
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。 令和元年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。 新型コロナウイルスによる影響を注視し、必要な対策を講じていく必要がある。 							<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、修繕計画に基づき、天井耐震化工事や受電設備改修設計を行った。 指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を進めることができた。 指定管理者による新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの策定・周知など、感染拡大防止策をとりながら催事を開催する環境を整えた。 			

様式1(主な取組)



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・建物の築年数が30年を経過し、施設の老朽化が激しくなっている状況にあり、急な破損により建物使用不可になることは、MICE誘致等の活動にも影響がでてくる恐れがある。
- ・MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・MICE施設という特性上、多数の人が集まる催事については、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。
- ・新型コロナウイルス感染症による影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・令和2年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・令和2年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	万国津梁館管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。						
実施主体	県	MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		万国津梁館管理運営事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： 指定管理制度による適正な維持・管理を継続するため、新型コロナウイルス感染症の影響による追加経費を計上した。 OR3年度： 万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。		
県単等	委託	65,633	65,633	65,633	29,916	47,889	29,916	県単等			

予算事業名		万国津梁館保全修繕事業費							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： 万国津梁館の安全性や機能性確保のため、地盤沈下対策工事や屋根瓦の漆喰補修工事を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行った。 OR3年度： 万国津梁館の安全性や機能性確保のため、舞台照明操作卓の修繕を行う。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行う。		
県単等	直接実施	65,605	72,789	85,753	73,463	75,586	40,845	県単等			

様式1(主な取組)

予算事業名 県有MICE施設長寿命化事業												
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画			
							当初予算額	主な財源	OR2年度： R3年度新規事業			
県単等	直接実施	0	0	0	0	0	358,560	県単等	OR3年度： 万国津梁館の安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿って、エレベーターロープ取替修繕等を行う。			
活動指標名	MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			123,475	順調	国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理・運営を行った。
実績値	実施	実施	実施	実施	実施	-	100.0%	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果				
活動指標名					R2年度			123,475	順調			新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した国内外の会議を開催することが出来た。
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
活動指標名					R2年度			123,475	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した国内外の会議を開催することが出来た。		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度の取組改善案							反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。 令和元年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。 新型コロナウイルスによる影響を注視し、必要な対策を講じていく必要がある。 							<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、修繕計画に基づき、地盤沈下対策工事や屋根瓦改修工事を行った。 指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を進めることができた。 指定管理者による新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの策定・周知など、感染拡大防止策をとりながら催事を開催する環境を整えた。 					

様式1(主な取組)



3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 建築から20年が経過し、施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、MICE等の誘致活動に支障が出る可能性がある。
- ・ MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・ MICE施設という特性上、多数の人が集まる催事については、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・ 国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・ 令和2年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・ 令和2年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。

様式1(主な取組)

活動指標名	ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備、 利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	0	順調	「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			関係部局と調整のうえ、「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE施設への移動利便性向上に資する、道路整備事業の進捗状況の確認や利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた課題整理等が行なわれた。
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等において、現状における整理を行なった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の機能強化に向けて、関係機関と地元自治体等地域と一体となり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保する必要がある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルスの感染拡大により、MICE需要にも大きな影響が出ている。そのため、収束後の社会経済が大きく変わる言わば新常态に対応した大型MICEのあり方を模索する必要があるが、催事主催者、及び参加者視点から、MICE施設への移動利便性向上については、今後も変わらず求められることを想定している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、利用者の移動利便性向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善について取り組む必要があり、引き続き、大型MICEエリア形成にかかる協働体制の中で協議を重ねていく。

4 取組の改善案 (Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	沖縄MICEネットワークの運営・組織強化			
対応する主な課題	<p>①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。</p> <p>②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。</p> <p>③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
全県のかつ産業横断的なMICE振興を図る観点から、大学、産業界、行政、各種団体が参画する沖縄MICEネットワークを設立し、部会、勉強会等を通して、県内事業者のスキルアップを図る。		設立				会員数130団体
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		部会、勉強会の開催、普及イベントの開催、主催者・誘致主体等への総合的支援等				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
	主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	委託	-	17,320	8,731	6,263	5,126	7,838	一括交付金(ソフト)	OR2年度： MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催した。 OR3年度： 総会、幹事会、部会を開催する。

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄MICEネットワーク会員数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
	—	150	244	275	206	130	100.0%	5,126	順調	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会、受入部会、誘致部会を開催した。	
活動指標名					R2年度						
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会、受入部会、誘致部会を開催した。沖縄MICEネットワークには現在206団体が参加しており、全県的かつ産業横断的なMICE振興が図られている。
活動指標名					R2年度						
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和2年度 of 取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員のニーズを踏まえた勉強会等を企画し、県内外から著名な講師等を招聘し、会員数を増やすことを目指すとともに、全県的なMICE受け入れ体制の充実を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地のPCO/MICE施設を招聘し、MICE開催におけるノウハウを共有してもらった。 ・ 産業部会をたちあげ、MICE関係団体から直接要望等を吸い上げる場をもうけた。 					



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ COVID-19の影響により、令和2年度は、会費支払いが困難な事業者に対して休会等の制度を設けた。

○外部環境の変化

・ COVID-19の影響により、令和3年度も会費支払いが困難な事業者が多くいる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 令和3年度の会費徴収を免除とする。

4 取組の改善案 (Action)

・ 令和3年度の会費徴収を免除とする。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	地域・住民のMICE参加の促進			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
MICE振興の意義や地域にもたらすメリットについて住民理解を促す普及啓発活動を行うとともに、MICEによる社会的効果を創出するため、県民向け公開講座や地域・NPO等と連携した関連イベントを主催者に働きかけ、住民によるMICE参加の機会提供に努める。						
実施主体	県、OCVB	MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	-	17,320	8,731	6,263	1,533	7,000	県単等	OR2年度： ツーリズムEXP0JAPANの開催4日間のうち2日間を一般解放日として、参加を促した。 OR3年度： R3年度開催予定の学会等において、市民口座の開催などを依頼していく。
予算事業名	観光誘致対策事業 (MICE推進課)						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	-	-	-	-	4,745	0		OR2年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 OR3年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載する。

様式1(主な取組)

活動指標名					R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要				
MICE普及イベントの開催やMICE主催者による 県民向けイベントの開催促進					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B							
実績値					H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	6,278	順調	活動概要 4日間のうち2日間は一般参加日となっている、ツーリズムEXPOジャパンの開催を支援した。また、県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。
					-	2回	2回	0回	1回	1回	100.0%			
活動指標名					R2年度					進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果				
実績値					H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)		計画値(B)			達成割合 A/B
活動指標名					R2年度					県とOCVBで誘致した世界最大級のツーリズムEXPOジャパンが開催され、2日間に渡り一般参加日となったことから、県民のMICE参画を促進したことや、県民向け啓発記事を掲載したことから、順調とした。				
実績値					H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)		計画値(B)	達成割合 A/B		
(2) これまでの改善案の反映状況														
令和2年度 of 取組改善案						反映状況								
<ul style="list-style-type: none"> web等を活用して、MICE理解を促進していく。 						<ul style="list-style-type: none"> 世界最大級の旅の祭典であるツーリズムEXPOジャパンの一般参加日への県民参画により、MICE参加への気運を高めた。 								



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ COVID-19の流行がつづくことから、MICE開催需要の回復に不安が残る。

○外部環境の変化

- ・ 流行から1年が経過し、沖縄も含めた地域で感染症防止対策が進み、催事が開催され始めている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 県内紙等にMICE関連の記事を掲載してもらい、県民にMICEについて正しい知識を身につけてもらう。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 県内紙へ、記事広告や沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、MICE関連記事を定期的に掲載する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	MICE開催支援の充実			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
MICE主催者等に対して開催経費の一部助成や空港等での開催歓迎支援を実施するほか、視察ツアーやMICE商談会を開催し、主催者、キーパーソン等を招聘し、沖縄のMICE開催環境をPRする。						
実施主体	県、OCVB	MICE歓迎イベント、シャトルバス借上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
戦略的MICE誘致促進事業									OR2年度： コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援等を実施する。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	90,998	78,349	64,041	97,170	一括交付金(ソフト)	OR3年度： これまでの助成、開催歓迎支援等の実施と併せて新たな支援策を検討する	
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR2年度：	
									OR3年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	64,041	順調	ツーリズムEXPOジャパンに対し感染症対策を支援したり、コロナ禍でも開催された学会等への開催支援やミス沖縄を派遣するなど、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄でのコンベンション開催費用が他の都市と比べてどうなのか、一目で分かるような比較表を作成し、コンベンションセールスに役立てる。 ・また、沖縄でのコンベンション開催事例をビジュアルで訴えるような企画書も検討する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19の影響で、思うような営業活動ができなかったことから、資料作成まで至っていない。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・一括交付金が2021年度で終了する。

○外部環境の変化

- ・ COVID-19の流行は当面続くことから、開催支援がどれほど活用されるか見通しがたたない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 2022年度以降、開催支援のみならず、新たな魅力を打ち出したMICE誘致を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 2022年度以降の新たな支援策を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	沖縄らしいMICEコンテンツの開発			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
民間事業者と連携し、MICE開催の前後に実施する産業視察や、自然・文化・芸能など沖縄の魅力を生かした体験プログラムなど、沖縄オリジナルのMICE関連商品の開発を促進し、主催者ニーズに応じた質の高いプレ・ポストコンベンションのコンテンツの充実を図る。						
実施主体	県、OCVB	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品、サービスの開発促進				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
戦略的MICE誘致促進事業									OR2年度： COVID-19の流行により、予算の再編成をおこなったため、当事業の実施はできなかった。	
一括交付金(ソフト)	委託	—	6,830	3,516	84,499	0	6,004	一括交付金(ソフト)	OR3年度： MICE開催及び受入におけるサステナビリティガイドラインを作成し、民間企業による持続可能なMICEコンテンツの開発を促進する。	
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源		
									OR2年度：	
									OR3年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品、サービスの開発促進				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	12月に横浜で開催されたICCAアジア部会にOCVBが参加し、横浜市におけるMICEへのSDGsの取り込みの事例を学び、次年度のガイドライン作成への足がかりを作ることができた。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 勉強会や沖縄MICEネットワークウェブサイトなどとおして、国内外や県内の先進事例紹介を行なう必要がある。 受入体制の充実をめざし、引き続き受入の中心となる団体等へ支援を継続する。 						<ul style="list-style-type: none"> 横浜で開催されたICAAアジア部会において、横浜の先進事例について情報収集を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・次期沖縄振興計画は、SDGsの概念を織り込んだ計画を予定している。

○外部環境の変化

- ・MICEにSDGsを取り込む動きは、他県でも増えている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・MICEは、終了後のレセプションにおけるフードロスや、インセンティブにおける企業のCSR活動の一環として行われる清掃活動等とおした環境保護活動など、SDGsとの親和性は高い。

4 取組の改善案 (Action)

- ・SDGsをとりこんだMICE受入のためのガイドラインを作成する。

様式1(主な取組)

活動指標名	講座・セミナー開催				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	24回	21回	27回	11回	6回	100.0%	5,026	順調	ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、withコロナ、afterコロナにおけるMICEの受入をテーマとしてオンラインセミナーを計8回、及び、特別講座を3回実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			MICE専門人材育成のためのオンラインセミナーを8回、及び、特別講座を3回開催し、ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等延べ175名が参加した。アンケート回答者の81%が、大変満足・満足と回答しており、順調に取組を進めた。
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<p>・講師、講座のテーマ、紹介する事例等を選定する段階において、県内に優れた講師がいないか、先進的な事例がないかを考慮する。</p>						<p>・コロナ禍におけるMICE案件受入の際の感染症対策について、県内事業者をゲストスピーカーとして招くなど、講座参加者にとって身近な事例を紹介した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・MICEビジネスは産業の裾野が広く、M/I/C/Eの分野ごとにプレーヤーとなる事業者も異なることから、求められる人材も多種多様であり、セミナーテーマの統一感が弱く、受講者に係るターゲット設定が曖昧になってしまう。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症対の影響で、MICEの需要が減少している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・セミナーのテーマ設定に関して、オムニバス形式ではなく、特定のテーマについて1年を通じて深掘りするような形式とする。

4 取組の改善案 (Action)

・セミナーの受講を原則通年参加としたうえで、特定のテーマについて1年を通じて深掘りすることで、より確実なスキル向上を目指す。同時に、通年で受講することのハードルを下げるための工夫を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③ MICEに関わるプレイヤーの育成・確保
			施策の小項目名	OMICEプレイヤーの育成・高度化
主な取組	県民・学生等のMICE理解の促進			
対応する主な課題	③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。 ④県内にはMICE専門の事業者が少なく、民間事業者もMICE専門の人材が不足していることから、MICE主催者の多様なニーズに対応できる幅広い専門人材の育成・確保が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
MICE振興の意義や地域にもたらすメリットについて住民理解を促す普及啓発活動を行うとともに、MICEによる社会的効果を創出するため、県民向け公開講座や地域・NPO等と連携した関連イベントの開催を主催者に働きかけ、住民によるMICE参加の機会提供に努める。		1回 イベント開催				
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		県民向け普及イベントの開催				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
主な財源	実施方法								OR2年度： ツーリズムEXP0ジャパンの開催4日間のうち2日間を一般解放日として、参加を促した。
一括交付金(ソフト)	委託	-	17,320	8,731	6,263	1,533	7,000	県単等	OR3年度： R3年度開催予定の学会等において、市民口座の開催などを依頼していく。
予算事業名	観光誘致対策事業 (MICE推進課)	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法						当初予算額	主な財源	
県単等	委託	-	-	-	-	4,745	0		OR2年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 OR3年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載する。

様式1(主な取組)

活動指標名	県民向け普及イベントの開催				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	2回	2回	0回	1回	1回	100.0%	6,278	順調	4日間のうち2日間は一般参加日となっている、ツーリズムEXPOジャパンの開催を支援した。また、県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> web等を活用して、MICE理解を促進していく。 						<ul style="list-style-type: none"> 世界最大級の旅の祭典であるツーリズムEXPOジャパンの一般参加日への県民参画により、MICE参加への気運を高めた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ COVID-19の流行がつづくことから、MICE開催需要の回復に不安が残る。

○外部環境の変化

- ・ 流行から1年が経過し、沖縄も含めた地域で感染症防止対策が進み、催事が開催され始めている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 県内紙等にMICE関連の記事を掲載してもらい、県民にMICEについて正しい知識を身につけてもらう。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 県内紙へ、記事広告や沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、MICE関連記事を定期的に掲載する。